

沿革

昭和47年3月11日設立

当時は、東京オリンピック開催で東洋の魔女といわれた女子バレーボールチームの金メダル獲得、そして岐阜国体開催などの影響もあり、スポーツへの関心が高まっていた。

また、生活にもゆとりが生じた頃でスポーツ活動が盛んになってきた。地域では小中学校のPTAや婦人会を中心としたチームが多く誕生し、生活の中で気軽にバレーボールを楽しむ婦人が急増していた。

昭和46年12月 岐阜市民センターにおいて家庭婦人バレーボール交歓大会を開催、この大会を機にバレーボールを楽しんできた多くの皆さんの賛同をもとに連盟結成に向けて初代副理事長の市橋美耶子氏を中心に歩き始める。昭和47年1月 設立準備委員会を結成、自分たちの手で大会運営が出来るように「女性のスポーツは女性の手で」をキャッチフレーズに、運営の方法、組織作り、規約など、県協会の先生方の心強い指導のもと、昭和47年3月11日、結成総会を開催、「バレーボールに関する活動を振興して、岐阜県における家庭婦人の健やかな体力の育成と明るい生活の形成を図ること」を目的に「岐阜県家庭婦人バレーボール連盟」が誕生した。スタートに際し加盟した数は26チーム。

経過

当初は、連盟や大会運営は未知のことや真新しいことばかりであったが、県協会の全面的なバックアップがあり、徐々に一歩一歩前進しスムーズな大会運営や、女性審判員の養成、各委員会活動の充実など現在のような幅広い活動が出来るよう成長し、昭和51年度から理事会等、実働の役員は全て女性となった。

昭和52年には初の女性公認審判員が21名誕生、その後の大会運営がより充実した。

昭和56年に結成10周年を記念してチャリティーバザーを開催。収益金を中日新聞社と岐阜新聞社を通じて福祉施設へ寄付している。

昭和50年中頃からは県内で連盟が直接主催していた講習会、研修会の他に全国家庭婦人連盟の審判講習会、東海家庭婦人連盟の指導者講習会等が開催されるようになり、「コカ・コーラさわやかバレーボール教室」が持たれるなど連盟の行事は年毎に多様になってきた。

平成3年度には結成20周年を迎えて、記念大会、記念誌「年輪 一球に心を寄せて」の発刊、連盟旗を作成した。また、雲仙・普賢岳の噴火災害への義援金を朝日新聞岐阜支社に寄託した。

平成4年度から機関誌「たまゆら」が発行されるようになった。

平成5年度、長い年月を連盟発展に尽くされた市橋美耶子理事長が副会長に、後任に石原信子理事長が就任した。

平成9年度からは、赤地鈴枝副理事長が理事長に就任、「三屋裕子の“いきいきバレーボール教室”」、平成10年度には「全国スポーツレクリエーション祭」にふれあい応援団として県に協力、平成11年度は元全日本で活躍した選手による「HERTUときめき杯ママさんバレーボール岐阜大会」など積極的に誘致した。

平成13年度には、結成30周年を迎えて、「30周年3月やよい大会」を開催。バザー等の収益金をユニセフに募金した。

平成19年度、発足時から35年にわたりご尽力いただいた武藤嘉文会長が名誉会長に、初の女性会長に市橋美耶子副会長、赤地鈴枝理事長が副会長に、山元美代子副理事長が理事長に就任した。

平成21年度、山元美代子理事長が副会長に、広瀬真弓事務局長が理事長に就任した。

平成23年度、4月1日から全国家庭婦人バレーボール連盟は、一般社団法人となり、名称も新たに「一般社団法人 全国ママさんバレーボール連盟」となった。県内では市橋美耶子会長は名誉会長となり、赤地鈴枝副会長が会長に就任した。

平成24年度、前年度の全国連盟の名称変更に伴い岐阜県でも、「岐阜県家庭婦人バレーボール連盟」から「岐阜県ママさんバレーボール連盟」と名称変更した。

平成28年度、岐阜県において初開催となる全国大会：第28回全国家庭婦人バレーボール大会を開催した。

主な大会

県大会

◆春季大会

第1回は、連盟結成の昭和47年4月23日に県営バレーボールコート（屋外）で24チームが参加し開催した。現在は、岐阜県主催の“ぎふスポーツフェア”の一環として、「岐阜メモリアルセンター 愛ドーム」で6地区の予選を勝ち抜いた24チームが参加、3ランク別で開催している。

◆秋季大会

第1回は、春季大会と同じく昭和47年に開催、当初はランク別で開催していたが、現在はフリー抽選で行う唯一の選手権大会。上位2チームを、10月に開催される東海大会に推薦している。

◆知事杯争奪ママさんバレーボール大会

昭和50年度から開催されて、岐阜GBSテレビの放映があり、解説者に地域やチームの関係者が登場するなど人気の高い大会であった。平成6年度に第20回を数えて終了した。

◆コカ・コーラ ボトラーズジャパングループ コカ・コーライーストジャパンカップ

「コカ・コーラ さわやかバレーボール教室」を支援していただいていた中京コカ・コーラボトリング株式会社が、更に地域スポーツ振興への協賛事業として新たな大会の場を冠スポンサーとして協賛、平成9年度から開催。

<経営統合等による大会名変更履歴>

- ・平成9年～16年：中京コカ・コーラカップ
- ・平成17年～28年：コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ
- ・平成29年～：コカ・コーラ ボトラーズジャパングループ コカ・コーライーストジャパンカップ

◆いそじ親睦大会(50歳以上)

平成12年度から、地区持ち回り事業として開催。平成1年に全国いそじ大会が開催されて以来、年々盛んになってきた大会。参加資格はタイトルのとおりその年度の4月1日に50歳に達していることが条件。順位を競わず、年に一度6地区のチームが2試合づつを楽しむ親睦が目的の大会。

◆ことぶき大会(60歳以上)

平成20年度に第1回県大会を開催。参加資格は年度の4月1日に60歳に達している事が条件。

東海大会（愛知県・岐阜県・三重県・静岡県）

◆東海大会

昭和49年度から開催されている。各県2チーム、計8チームによる選手権大会。
岐阜県からは、秋季大会の上位2チームを推薦している。

◆東海いそじ大会

平成5年度から、第1回大会は静岡県で東海大会と同じく各県2チーム、計8チームで開催。岐阜県から当初は各地区持ち回りの推薦で参加していたが、現在はチーム数も多くなり、予選会を行っている。各県4チーム、計16チームで開催。

参加資格は、その年度の4月1日に50歳に達している事が条件。

◆東海ことぶき大会

平成10年度から、第1回は岐阜県で「いそじ大会」と兼ねて開催した。年々参加者の希望が増え続け、1チームでも多くのチームが参加できるよう、平成12年度からは、ことぶき大会として独自開催。現在は各県7チーム、計28チームで開催。

参加資格は、その年度の4月1日に60歳に達している事が条件。

◆東海ことぶき大会（おふくの部）

平成29年度から、東海ことぶき大会において「おふくの部」を設け、第1回大会は岐阜県にて各県2チーム、合計8チームにて開催。

参加資格は、その年度の4月1日に70歳に達しているのが条件。

東海3県大会（愛知・岐阜・三重）

◆コカ・コーライーストジャパンカップ 愛知・岐阜・三重 決勝大会

中京地区3県で開催された第1回大会の成功によって第2回大会は更に多くのチームが参加し盛り上がり、平成10年から、各県大会で優勝、準優勝したチームが出場権を得た「中京コカ・コーラカップ 家庭婦人バレーボール決勝大会」が開催され、憧れの大きな目標の大会となった。

平成17年1月1日の合併により平成16年度で終了。選手、チームの強い要望で「コカ・コーラセントラルジャパンカップ愛知・岐阜・三重 家庭婦人バレーボール決勝大会」と名称も新たに平成19年度から復活。

平成24年度からは家庭婦人連盟の名称変更により「コカ・コーラセントラルジャパンカップ愛知・岐阜・三重 ママさんバレーボール決勝大会」、平成25年度から経営統合による社名変更によって「コカ・コーライーストジャパンカップ愛知・岐阜・三重決勝大会」となったが、経営判断により平成26年度の岐阜県大会で終了した。

全国大会

◆全国ママさんバレーボール大会

第1回大会は、昭和45年4月1日から4月4日まで、婦人の社会スポーツの一環として東京で開催された。岐阜県の初回参加は「ひとつ葉」。第4回からは、全国大会は生涯に1回だけと正式に決定されママさん選手にとっては、一生に一度という憧れの大会となった。参加資格にも制限があるが、「強豪選手に偏らず、より多くのママさん選手に全国大会にプレーしてもらいたい」そんな大会の精神が続いている。ママさんにとって大きな目標の歴史ある大会。

◆全国いそじ大会

年齢層の厚くなったママさんバレーを生涯スポーツに導くため、全国ママさんバレーボール大会の年代別の大会として、平成の幕開けに第1回が開催。タイトルのとおり、その年度の4月1日に50歳に達している事が条件。

平成28年度は、岐阜県において開催し、全国から64チームが参加した。

◆全国ことぶき大会

60歳以上が対象の“ママさんバレーのマスターズ版”大きな特徴は、予選なしで参加できること。チーム全員が、必ず一度はコートに入りプレーすること。

大会の趣旨は「元気を確かめ合い、明日の力になるよう親睦をはかる」。

第1回大会は、平成8年11月11日から13日まで東京都で100チームが参加して開催。ことぶきは還暦古希などの祝いにはすべて寿がつくことから「ことぶき」となった。

また70歳以上の「おふくの部」が設けられていたが、平成28年度から単独の大会となった。

◆全国おふく大会

第20回全国ことぶき大会を記念し、平成28年度より全国おふく大会を単独で開催し、第1回大会は奈良県で24チームが参加し開催した。岐阜県からは「RAIMU」が参加した。

◆LAWSON CUP

(株)ローソンが創立30周年を迎え、全国のママさんが楽しんで参加できる全国大会をと特別協賛、第1回大会は平成18年2月14日から17日まで宮城県で開催された。一生に一度しか出られない全国ママさん大会に出場したものの、いそじ大会に参加するには早い年齢の選手のために新たな目標の大会となった。全国ママさん大会同様、参加資格に制限がある。

平成22年度3月に開催予定であった全国大会は、東日本大震災に配慮して中止となり、第6回大会にて終了した。

◆全国ママさんバレーボール冬季大会

LAWSON CUPに代わる大会として平成23年度に新設の大会。第1回は福岡市で開催された。本大会は、全国大会への再チャレンジの機会を拡大するため、出場後2年経過すると参加資格が与えられる。